

令和5年度第1回埼玉県東部地域保健医療協議会 議事概要

1 日時及び会場

令和5年12月13日（水） 午後7時30分から午後8時25分
埼玉県春日部地方庁舎 3階 大会議室（ウェブ会議システム併用）

2 出席者

- ・協議会委員（別紙名簿のとおり）

委員総数24名 出席20名 欠席4名

- ・事務局

保健医療政策課、春日部保健所、草加保健所、越谷市保健所

- ・傍聴者

1人

3 あいさつ

中村議長（春日部市医師会会長）

4 議事

冒頭でこの会議を公開とする旨の発議があり了承された。

(1) 圏域別取組（第7次計画）の令和4年度実績について

春日部保健所から資料1-1に基づき東部地域医療圏における第7次埼玉県地域保健医療圏における圏域別取組の概要について説明を行った。また、資料1-2により、各団体における令和4年度の取組実績の報告を行った。

【質疑・応答】

特になし。

【主な意見等】

特になし。

(2) 第8次計画の骨子案及び指標案について

保健医療政策課から資料2に基づき、現在策定作業中である第8次埼玉県地域保健医療計画の施策や主な取組、考え方等の説明を行った。

【質疑・応答】

医療の計画について説明があったが、医療費削減ということがある中で医療界全体がこれからやってけるのかという状態だと考えている。例えば、看護師を募集したいと言っても、看護師の給料を上げない限り集まってこないという実態がある。このような状態の中、国は医療費削減と言っているが給料を上げ続ける中で、医療費の削減はなかなか難しい。医療費を下げると言うだけではなく、どのように適正にするかをよく考えていただきたい。

もう一点、現状ジェネリック医薬品が原因で薬が足りない状況にある。あらゆる薬が足りない状況にある中、ジェネリック医薬品の推進をどんどん進めていくのか。しっかりとした

薬の供給をお願いしたい。これらの点は、ぜひ県から国に伝えてほしい（吉川松伏医師会・平井委員）

→・医療費適正化について

医療従事者の確保がままならない中、医療費適正化をどのように進めていくのかという点で一つが病気になる前の対策で健康でいていただくための施策。こちらが一つ大事なものとして捉えている。

また、第2章の中で医療の部分について適切に適正化できるところはしてくださいということで厚生労働省からの指針が示されており、その中で県としてはご指摘のあったものについては、引き続き推進を図っていくことを記載している。まずは現場で適正な医療が行えるように県としても支援ができる場所をしていきたいという風に考えている。

・ジェネリック医薬品について

ご指摘の通り、2年ほど前にジェネリック医薬品の品質について問題が出てからその他の色々な問題がはらんでおり、流通に支障がでている状況であり。現場の先生方にも大変なご迷惑がかかっていると伺っている。

また、今般の新型コロナウイルスの影響を端を発して、例えば鎮咳薬の流通が大変厳しくなっており、医薬品の流通体制について非常に厳しい状況にあるということをお意見を伺い、改めて感じたところである。本県では、現場の先生方の取り組みのおかげで、国の目標である80パーセントについては超えることができています。県としては、今の数値を下回ることのないようにしつつ、国の目標である8割を維持しているということなので、流通の問題もある中で、ジェネリック医薬品の問題が後退しないように取り組んでいきたいと考えています。ご指摘いただいた点も十分に踏まえて適正化に取り組んでまいりたい。（保健医療政策課）

【主な意見等】

ジェネリック医薬品の問題について、安い薬価の薬をどんどんと削り、メーカーも作らなくなっている。薬価をどんどんと下げることにより、医療費を下げようとしている。そのため必要な薬剤もやたらと安く薬価差がないためどんどんと作られなくなっているという現状もあるということをお踏まえていただきたい。（吉川松伏医師会・平井委員）

(3) 圏域別取組（第8次計画）の策定について

保健医療政策課から資料3に基づき第8次埼玉県地域保健医療計画における圏域別取組の策定について説明を行った。

【質疑・応答】

- ・ 東部保健医療圏は県東端であることから、東京都や千葉県と接している部分がある。基本理念の一つにある、新興感染症発生まん延時に向けた対策という点において、または災害時医療においも関係してくるかと思が、隣接する例えば東京都のからの流入などといったところも踏まえた計画は検討されているか。（埼玉県保険者協議会・山本委員）

→ 感染症発生時や災害時医療は、ある程度広域にまたがって発生するものである。そのため、地域間の連携というのも非常に大事だと考える。

なお、感染症医療については二次保健医療圏単位である程度は対応しつつも、他の圏域の力も借りながら対応することは必要であると考えている。

新型コロナウイルスの対応では、例えば入院調整は県内完結ということで対策をしていたが、隣の圏域など、広域的な視点も大事であると考えている。必要な連携のもと、情報提供なども我々もできるところはしていきたい。(保健医療政策課)

→ 確かに新型コロナウイルスの時も、例えば春日部保健所であれば千葉県野田市などから、患者さんが埼玉県内に来たり、反対に春日部市在中の方が千葉県野田市の病院に行つて受診されたりといった実態はあり、計画とは別に個別に対応していたところ。

しかし、地域保健医療計画自体は埼玉県の計画であるため、他県計画と擦り合わせるといようなことは一般的にはしないと考えている。ただし、救急医療などでは、本庄地区では群馬県と連携をしたり、周産期医療などでは東京都と連携をしたり、そのような対応はしている。

この後圏域別計画の話をする予定であるが、その中だけで、つまり東部圏域において他県との協力を書き込むというのは難しいと考える。(春日部保健所)

【主な意見等】

- ・ 医師会の関係では、確か朝霞地区だったと記憶しているが練馬区とが防災協定を結んだとの報告があるように、個々では進めているところがあるよう。県それから都とともに、協定等でシステムを作っていたらありがたいと考えている。(春日部市医師会・中村委員)

(4) その他

東部保健医療圏における圏域別取組の策定に向けて委員あてに意見照会を行う旨説明した。意見照会の時期は令和6年1月を予定している。

その後、全体を通した質問として、次のような質問があった。

【質疑・応答】

- ・ 基本理念の2番目の「安心と活気にあふれる高齢社会に向けた健康づくりの推進」とあるが、高齢者が今一番心配しているのは年金の問題である。物価が上がる中、同じ金額の年金のままで、その結果、調子が悪くても医療にかかれないというようなことがある。縦割ではなく横の連携で高齢者をどうするかと考えるとこの場だけで議論しても難しいと考えるがいかが。(吉川松伏医師会・平井委員)

→ 高齢者の方々が生きていくには医療だけではなくて当然福祉的な側面もあればお金の話も出てくるかと思う。先日開催した地域医療構想調整会議においても、介護保険事業計画等も参考としながら進めていくべきといった趣旨のご意見もいただいている。

医療計画であるため、当然医療のことを書かなければいけないがそれ以外の事項についても委員のみな様のご意見を伺いながら、圏域別計画を作成していきたいと考えている。(春日部保健所)

→ ご指摘のとおり、高齢者を支え取り巻く環境は医療だけではない。さきほど介護のお話にも触れて説明させていただいたが、例えばフレイル対策、生活の中の周りの様々な環境が高齢者生活に非常に大きな影響を与える。そのようなコミュニティとのつながりも非常に重要だと考えている。そういったご意見も踏まえて、検討できればいい計画になると考える。(保健医療政策課)

【主な意見等】

特になし。

埼玉県東部地域保健医療協議会 委員名簿

区分	所属（推薦）団体及び役職名等	氏名	備考
保健医療提供者	1 春日部市医師会 会長	ナカムラ ヤスフミ 中村 靖史	会長
	2 越谷市医師会 会長	ハラ スナオ 原 直	
	3 吉川松伏医師会 会長	ヒライ マコト 平井 真実	
	4 草加八潮医師会 会長	ナイトウ タケシ 内藤 毅嗣	
	5 三郷市医師会 会長	クサナギ ヒロアキ 草薨 博昭	
	6 東埼玉歯科医師会 会長	トバリ ヒデオ 戸張 英男	
	7 草加市薬剤師会 会長	ナガヌマ マサヒロ 長沼 雅弘	
	8 公益社団法人埼玉県看護協会（草加市立病院 看護部長）	ムネヒロ ミナ子 宗廣 みな子	
保健医療受給者	9 埼玉県保険者協議会（全国健康保険協会埼玉支部企画総務部長）	ヤマモト ヒロミチ 山本 広道	副会長
	10 埼玉県保険者協議会（春日部市健康保険部参事兼国民健康保険課長）	キフネ ヒロミ 木舟 宏美	
	11 春日部市民生委員児童委員協議会 理事	ミヤモト キミ子 宮本 喜美子	
	12 草加市食生活改善推進員協議会 会長	カザマ カツ子 風間 佳津子	
	13 越谷市食生活改善推進員協議会 副会長	フクオカ マサコ 福岡 政子	
	14 八潮市母子愛育会 会長	ワイダ フサ子 和井田 房子	欠
行政関係者	15 春日部市健康保険部長	オリハラ ユキリ 折原 章哲	
	16 草加市健康福祉部長	サカタ ユキオ 坂田 幸夫	欠
	17 越谷市保健医療部長	ノグチ ヒロキ 野口 広輝	
	18 八潮市健康福祉部長	エンドウ マサユキ 遠藤 雅之	
	19 三郷市いきいき健康部長	マシヨ トシユキ 益子 敏幸	欠
	20 吉川市健康長寿部長	コバヤシ イヅミ 小林 以津己	欠
	21 松伏町すこやか子育て課長	ホンダ ノボル 本多 登	
	22 越谷市保健所長	ハラ シンゲル 原 繁	
	23 草加保健所長	ナガムネ ミユキ 長棟 美幸	
	24 春日部保健所長	タナカ ヨシアキ 田中 良明	

任期：令和6年5月31日まで

敬称略